

「愛着の我家を住み続ける。」



'97年 第28回文化セミナー
大阪府中央公会堂にて

価値観の転換期を生きる

お気づきですか？暮らし方に對する価値観が変化し始めていることを。人も生物として自然界や地球そのものと共生しなければならぬこと。資源は有限であり、人間の欲望のままに使い尽くしてはいけないこと。そして再生・還元・共生のルールを守らない限り、資源の枯渇は勿論、ライフサイクルの終焉も近づいていることを。

今まで私達にも、時代の流れに沿うことが評価される時代を生きてきました。浪費や贅沢、使い捨てや買い換えを繰り返してモノを消費し続けてきたのです。

ここに至って多くの人々が「もの」の価値を再認識し、大切に愛用すると言った「価値観重視」の考えにシフトし始めています。精神エネルギーを重視した本質的な暮らし方を求め始めたのです。今回はそんな観点から暮らし方と住まいについて、提案したいと思います。

心を満たす暮らしとは？

暮らしとは何か？真剣に考えた

ことはありますか？簡単なようにも難しい問題ですね。バブルの崩壊や経済至上主義に批判的な今日私達は「新たな価値観」を考へなければならぬ時を迎えています。結論を言えば、「暮らし方をもっと大切にし、より楽しく暮らそう」と言うことです。

その基本は夫婦・親子・兄弟・友人が仲良く、家族や人の絆で結ばれていることです。次に安全で安心、明るく楽しく、元気に暮らせる住まいを具現することです。最後は、心の豊かさを求め、ものを大切にし、愛用し、その中で暮らしを楽しむを知るということです。

この三つのポイントをバランス良く保ち、家庭の伝統として引き継いで行くこと、この日々の積み重ねが「心を満たす」暮らしの原点となるのではないのでしょうか？

住まいは人生であり故郷

住まいは「人」が「主」と書きます。やはり住まう人が「主」となる住まいであって欲しいのです。人任せの「住める家」ではなく「私が住む家」であって欲しいです。また、「あの家に暮らす人」ではなく「あの人が暮らし方」であるべきです。

百年を住み続ける！

石造りの住宅が多いヨーロッパでは自分の家を実に大切にします。その時代に暮らす人が自分流に手を加え、次の代に引き継ぐ。そして何百年と住み継いでいます。アメリカでは木造住宅をリフォームして新築時より高く転売するなど日常茶飯事です。やはり我家に愛着を持って残りたいからでしょう。



100年近く経つ豊慶流のソファを粘結。祖父の代で使われていたものが、これから100年引き継がれます。

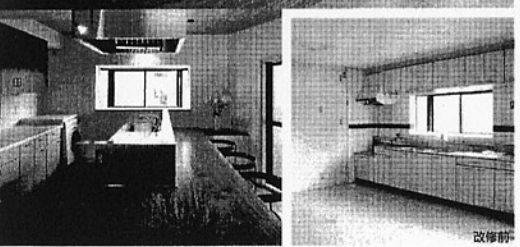
そうそう日本もの姿勢を見習うべきです。住宅への無関心や使い捨てを戒め、家族として、故郷として、社会資本としての住宅を認識すべき時期が来ます。勿論、永年住む方には耐用年数からくる不安、地震に対する不安、高齢化への不安など、様々な懸念材料が蓄積されます。そこで、住まいの再生・改修を考える際に一番大切になるのは、住まいの基本性能

を知る事です。基礎や構造など、専門家による耐震性能や強度を判断してもらいましょう。ここに致命的な欠陥がある場合は残念ながら建替えなければならぬこともあります。幸い補強などで済む場合は、間取りや内装を後回しにしても、基本性能を高める抜本的な再生・改修を心がけてください。部分的な再生・改修を行うと全体のバランスを崩すより、総合的な再生・改修を心がけるべきです。小手先の現状回避ではなく、愛着を持って百年を住み続けるために信頼できる専門家の判断に委ねましょう。

専門家が距離を縮め、理解し合うことが一番と考え、気軽に話し合える場を設けています。お気軽にご相談いただき、地縁や知り抜いた環境を活かし、暮らしのセンスアップを図り、大人の暮らし、達人の暮らし、自由人の暮らしを目指し、終の棲家として愛着ある我家に百年を住み続けていただきたいものです。

愛住、百年は可能か？!

共同住宅(マンション)を住み手の個性や、現代の暮らしに合せ住み続けていくことが大切。紋切りの間取りを取り払い、広がりを感じさせる平面計画とし、日々の生活に楽しい演出ができる細かい仕掛けや、自然素材を多用した内装仕上げが、ありきたりのマンション生活と一味違った暮らしを提供しています。



改修前

お問い合わせ先

暮らし方研究会(再生改修相談デスク)

フリーダイヤル 0120-111080-4

ファクシミリ 06-6361-7000

ホームページ www.kurashikata.gr.jp/

Eメール ask@kurashikata.gr.jp

大阪事務局 TEL:06-6361-7000

〒595-0043 大阪府北区天満4丁目2番15号 吉岡ビル3F

受付時間 午前10時から午後5時まで 土日祝休み

活動地域 大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山・岡山・三重

年会費 1名家族に1000円

資料請求 TEL: FAXまたはEメールで



00年 第28回建築セミナー 豊景